

2013年8月3日

(株)日本サンガリアベバレッジカンパニー

サンガリア製品の放射能安全性について

東日本大震災後、関東及び南東北地方の多数の農産物等（野菜、緑茶、食肉など）および水道水から食品衛生法上の暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されたとの報道があり、2011年末の放射性物質対策部会では厳格化された暫定基準値が設定され、2012年4月の製造品より厳格化基準値が施行され、清涼飲料水の水とお茶類が10ベクレル以下その他は100ベクレル以下となりました。

本件につき、下記の通り弊社製品に関する放射能安全性についてご報告いたします。

1. **【農産物等産地】**: 現在東日本の緑茶は使用しておりません。また厳格化されたセシウム暫定規制値100ベクレル(Bq/Kg)を超える発表のあった都県の農産物等も使用しておりません。果汁を含む農産物等原料は考慮するに及ばない海外産となっています。
2. **【農産物収穫年】**: 今年の製品は昨年収穫の緑茶を使用し、国産原料については全てガンマ線スペクトロメーター（検出限界は検体・測定条件により異なりますが1~5 Bq/Kgです）で放射能を検査確認して選定使用する体制を取っています。
3. **【生産工場と原水】**: 弊社の大多数の製品は福島第一原発400km圏外となる西日本の自社工場（製造所固有記号：大阪本社 SNG, 今川工場 SNG1, 伊賀工場 S1, 上野工場 SNG39）を中心に生産（一部は西日本の委託工場）しています。圏外なので当然のことですが自社工場原水（RO 純水なので水以外のミネラル、薬物等も全て除去されてゼロ）から放射能は検出されていません（検出せず）。
東日本の委託工場でも少量を生産しており、その製品に使用する原水（純水）の放射能測定を行いました。今も検出されていません。
4. **【製品検査】**: 東日本の委託工場で少数を生産している製品についてガンマ線スペクトロメーターで測定していますが、今も検出されておりません。同様に、国産農産物を含む製品も、全て検出されていません。さらに全製品についても検査確認していますが、いずれにも放射能は検出されておりません（検出限界概略4 Bqにて検出せず、気にする商品については更に1 Bqまで感度を上げて精査しても検出せず）。

以上のようにサンガリア既存製品は厚生労働省の新基準値に全て適合しており、継続して安全性が確認されていることをご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧賜りますよう宜しく御願い申し上げます。

以上

測定結果とコメント

全商品の検出限界は概略4ベクレル (Bq/Kg) で測定し、すべて検出せず (ND) のため、水とお茶類だけの厳しい検出基準値10ベクレル以下をクリアーしています。当然なことですが一般清涼飲料水の検出基準値100ベクレル以下よりも遥かに低いレベルでクリアーされています。

サンガリアでは水とお茶類や一般清涼飲料水を区別することなく、厳しい基準値10ベクレル以下を見据えた生産体制を取っています。つまり「安全です」、ご安心ください。

気にされる天然水500ペットとあなたの茶500ペットは検出限界1ベクレル (Bq/Kg) の高感度で測り直しても、検出せず (ND) のため1ベクレル未満です。精査しても「安全です」、ご安心ください。

測定装置の写真を添付

1：放射線量測定器



2：ガンマ線スペクトロメーター

